

[別添資料]

＝ 遅刻に関する意識・実態調査『みんなの遅刻事情』 ＝

2010年12月10日(金)～2011年1月7日(金)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施
 回答者＝全国の2,213人 男性：1,435人／女性：778人
 20歳未満：45名／20歳代：398名／30歳代：568名／40歳代：605名／50歳代：428名／60歳以上：169名

[Q.1] あなたの人生最大の遅刻時間はどれくらいでしたか。

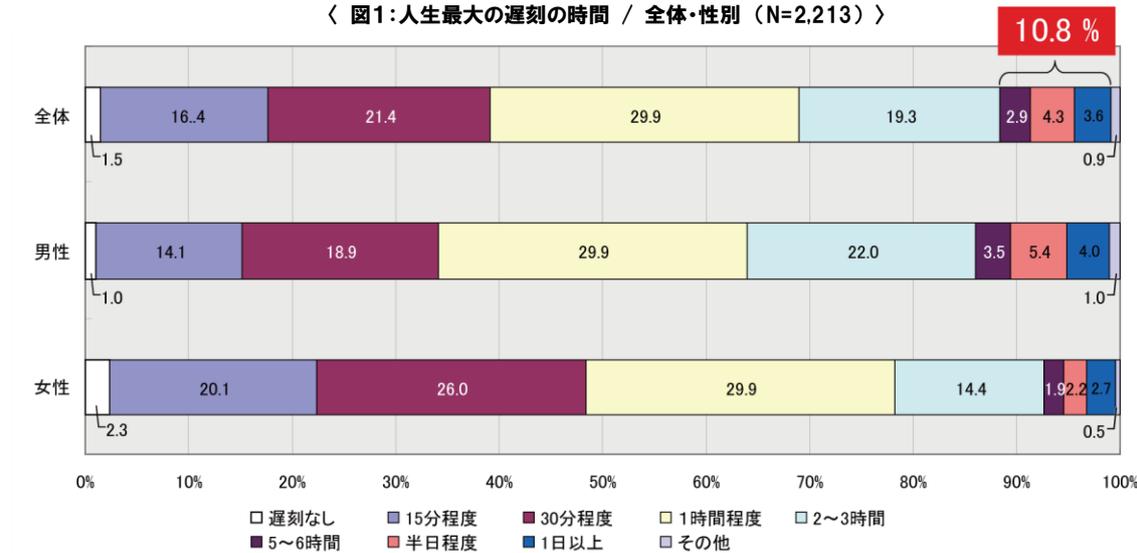
◎回答者の1割以上の方が、5時間以上の遅刻経験有り！

「人生最大の遅刻」はどれぐらいの長さか、について尋ねたところ、回答者の88.5%の方が、2～3時間程度までを「人生最大の遅刻」と回答。その一方で、10.8%の方が、「5～6時間程度」「半日程度」、さらには「1日以上」の遅刻経験がある、と回答されました。『5時間以上』の遅刻を経験された方のうち、男性が12.9%であるのに対し、女性は6.8%という結果でした。

1日以上という方は、予定日の勘違いが多く、「実家のブラジルへ帰国する際に、3日後に予定の日を過ぎたことに気がつきました。(神奈川県・男性)」「仕事の打ち合わせを間違えて、1週間後と記憶していた(大阪府・男性)」という方も。また、海外旅行のケースでは、「ウィーンで成田行きの飛行機に乗り継ぐことが出来ず、1日1本の便なので丸1日遅れ(埼玉県・男性)」という方もいました。

今回の回答者の中には、「私は遅刻をしたことがない」と回答した人が、なんと1.5%もいらっしゃいました。

いただいたコメントを拝見すると、「60年、遅刻は無し(大阪府・男性)」のように、時間に対して確固たる信念を持って暮らされている姿が窺えます。他にも、「遅刻は無い、1時間前に合わせる(大阪府・女性)」「まず思い当たるところでは、時間に遅れを取ったことが無い(福井県・男性)」などのコメントも。遅刻常習者にとっては、少し耳の痛い回答も見られました。

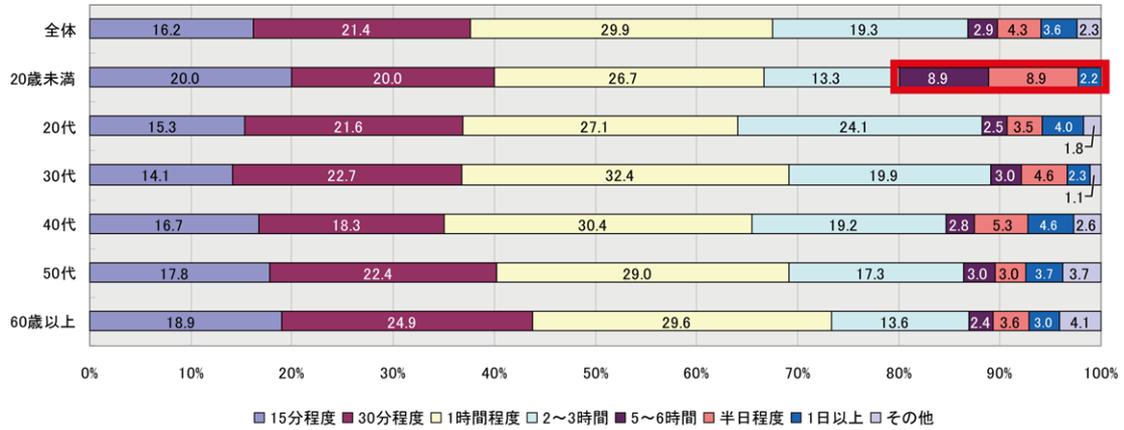


◎ 「5時間以上の遅刻」年代別では、20歳未満が最も多く！

年代別では、20歳未満が5時間以上の「大遅刻」を経験している割合が20.0%に達している点が顕著。一方、60歳以上が9.0%と最も少ない結果に。

「時間にルーズな若者と、時間に厳しいシニア層」といった傾向が見られました。

〈 図 2: 人生最大の遅刻の時間 / 全体・年代別 (N=2,213) 〉



[Q.2] その約束はどういうものでしたか？

◎逆に喜ばれた？なんと「冠婚葬祭」に遅れてしまった人も約4%！

人生最大の遅刻は、何に遅れてしまったのでしょうか？

最も多い回答が、「会社や学校の始業」で34.7%、次いで「友人や家族との待ち合わせ」22.3%、「恋人との待ち合わせ・デート」で12.0%。日々の暮らしのなかで、遅れてしまうことは、誰しもあるようです。

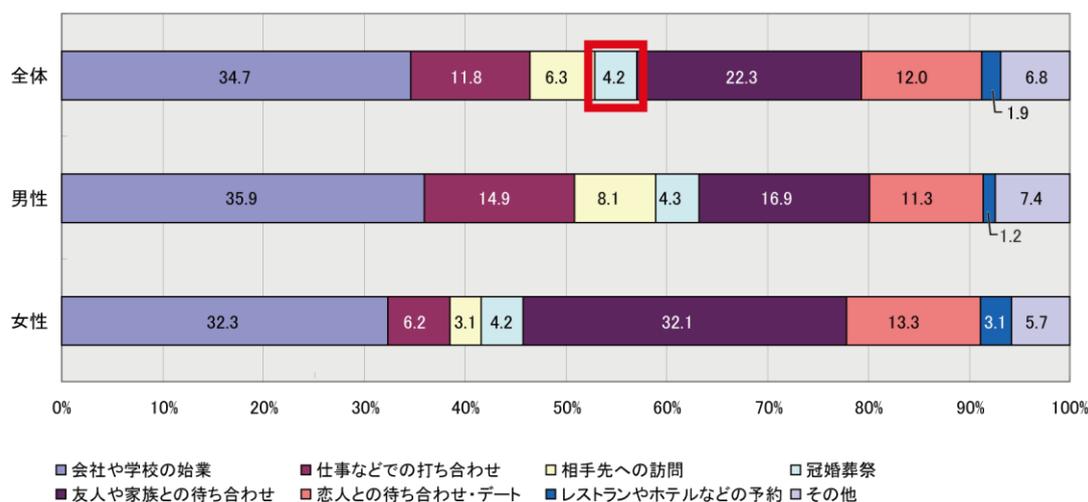
ただ、絶対に遅れてはいけないといわれている「冠婚葬祭」に遅れてしまった、という方も今回の回答者の中で4.2%いらっしゃいます。「後輩の結婚式に出掛ける直前に洋服にコーヒーをこぼしてしまい、ドライヤーで乾かすハメに。(愛知県・女性)」「特急の発車が1時間遅れ、結婚式の途中から出席することに(愛知県・男性)」と、突然のトラブルに焦っている様子が目に浮かびます。

冠婚葬祭で人生最大の遅刻をしてしまうと、致命的なことになりそうですが、「特急を乗り過ごしてしまったが、隣の県まで『お祝いの品を求めに』行っていたことにしたら、逆に喜ばれて恐縮した(滋賀県・男性)」等、機転の効いた言い訳が幸いすることもあるようです。また人生の節目に対しての遅刻故に、「出席者多数だったので目立ちはしなかったけれど、いまだに悔いが残ります。(熊本県・男性)」というコメントも。

これらの方々は今だからこそ思い出になっていると思いますが、冠婚葬祭という、まさに記憶に残る、“人生最大の遅刻”を経験されているようです。

一方で、男女別の違いでは、男性が「仕事などでの打ち合せ」が14.9%に対して女性が6.2%と、低くなっています。また、逆に「友人や家族との待ち合わせ」では女性が32.1%に対して男性が16.9%と、男性を大きく上回っています。

〈図3:人生最大の遅刻は何の約束をしていたか / 全体・性別 (N=2,213)〉

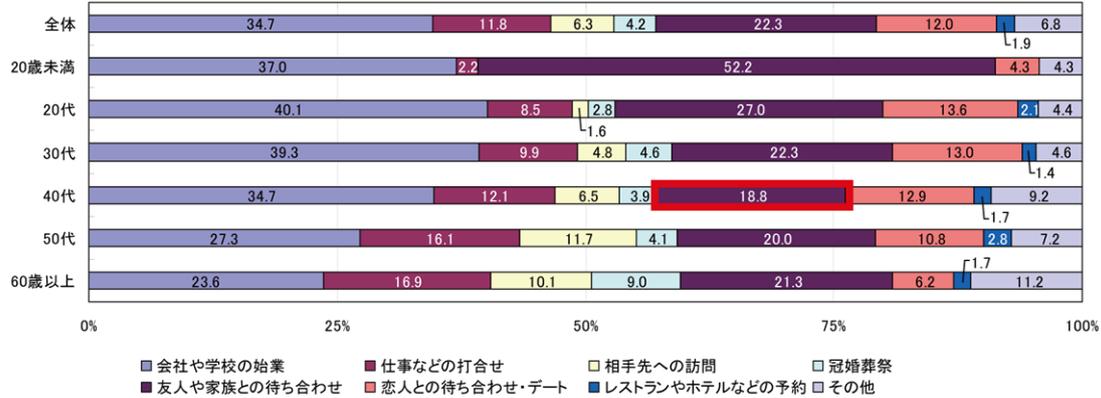


◎意外！最も友人・家族関係を重視しているのは働き盛りの40代

「友人や家族との待ち合わせ」に“人生最大の遅刻”をした方が最も多いのは、20歳未満の52.2%。一方、最も少なかったのは40代の18.8%。

20歳未満の若い世代では友人・家族等のプライベートでの人間関係を軽んじがちであるのが窺える一方、働き盛りの40代が友人・家族との関係を大切にしているようです。

〈 図 4:人生最大の遅刻は何の約束をしていたか / 全体・年代別 (N=2,213) 〉

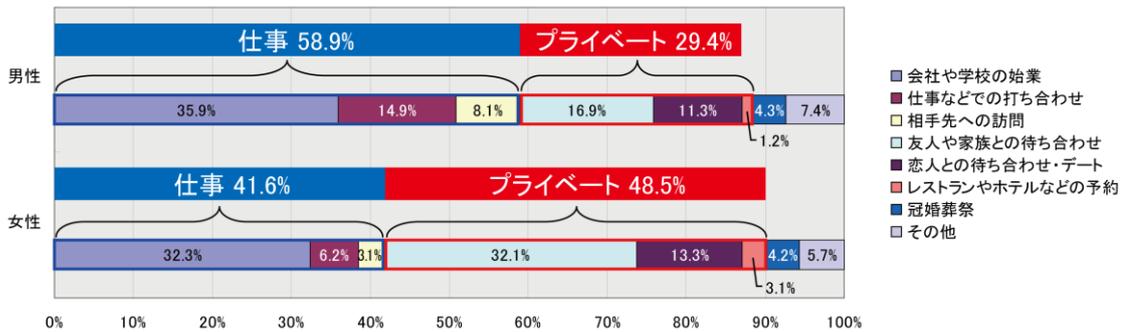


★肉食系女子に死角あり！？ 女性はプライベートで大遅刻の傾向！

男女別で遅刻のシーンを見てみると、女性は仕事で41.6%、プライベートで48.5%と、男性に比べて、プライベートでの遅刻が多いことが判明。

昼間はバッチリ男性をリードして仕事をこなす肉食系女子もアフター5ではデートに遅れて、草食系の彼に「仕事と僕、どっちが大事なの？」なんて責められている、そんな状況が窺えます。

〈 図 5:男女別 人生最大の遅刻は何の約束をしていたか割合 (N=2,213) 〉



★『若者＝時間にルーズ』の法則はもう古い！今の若者は時間にシビア

年齢別に細かく「仕事の打合せ」「恋人との待ち合わせ・デート」等、シーン別の遅刻の割合を見てみると、25歳を境に、仕事とプライベートでの遅刻の割合が逆転しています。

若い世代では仕事よりプライベートでの遅刻が多く、歳をとるにしたがい、プライベートより仕事での比率が高くなり、意外にも、若い世代の方が「ビジネスシーンにおいては、時間にシビア」という結果になりました。

「まったく、今の若者は時間にルーズで・・・」なんて言ったら、もはや時代遅れかも知れません。

〈 図 6:年代別 遅刻理由割合 (N=2,213) 〉

年齢	割合	
	仕事	プライベート
20歳未満	40.9%	59.1%
20～25歳	48.9%	51.1%
26～29歳	56.6%	43.4%
30～34歳	58.1%	41.9%
35～39歳	60.8%	39.2%
40～44歳	59.9%	40.1%
45～49歳	62.9%	37.1%
50～54歳	62.4%	37.6%
55～59歳	61.9%	38.1%
60歳以上	63.4%	36.6%

※「会社や学校の始業」「仕事などの打合せ」「相手先への訪問」をビジネスシーンに分類

「友人や家族との待ち合わせ」「恋人との待ち合わせ・デート」「レストランやホテルの予約」をプライベートに分類。
「冠婚葬祭」「その他」の理由を除いた割合で集計。

[Q.3] なぜ遅刻をしてしまいましたか？

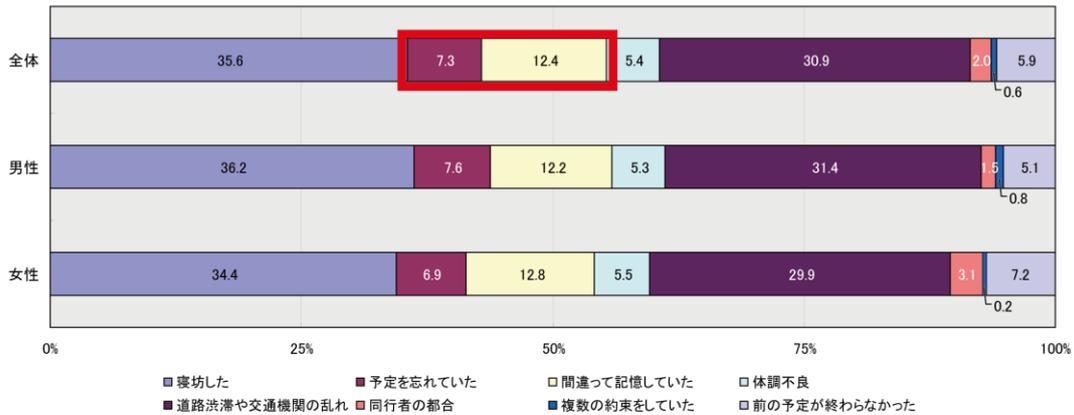
◎遅刻原因は、つい、うっかりの「記憶ミス」が約2割

では、みなさんどうい理由で“人生最大の遅刻”をしてしまったのでしょうか。

最も多い回答が、自業自得とも言えなくもない理由である「寝坊した」で35.6%。次いで、「道路渋滞や交通機関の乱れ」が30.9%。これは、もしかしたら防げたかもしれない遅刻とも言えます。

その次に多い理由が、意外にも「間違って記憶していた」12.4%や「予定を忘れていた」(7.3%)というもの。つまり約2割の人が、自身の時間管理ミスで、つい、うっかり“人生最大の遅刻”をしてしまった様子。時間を管理することは、人と人との信頼関係の基本につながる。故に、大事にしたいものです。

〈 図7:人生最大の遅刻の理由 / 全体・性別 (N=2,213) 〉



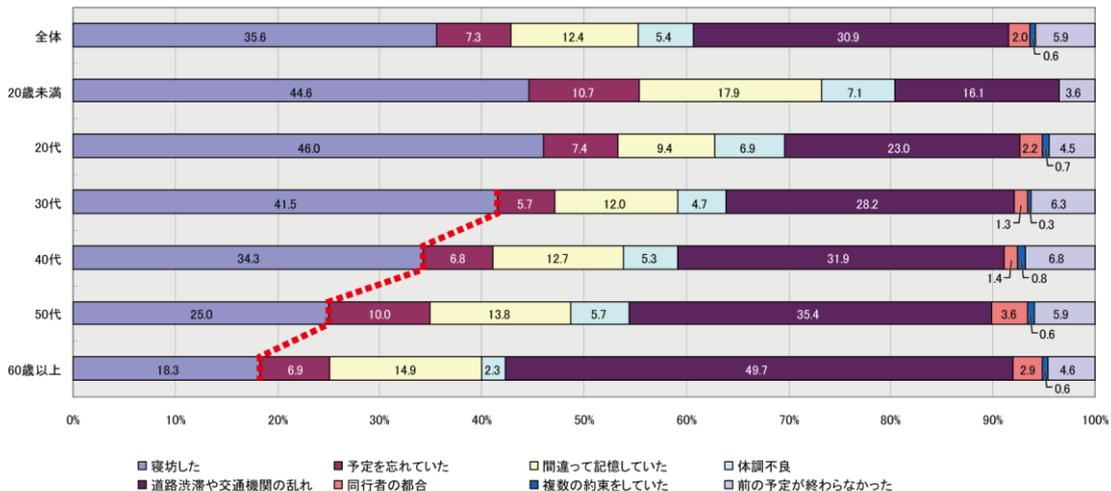
★30代を境に変化！寝坊が減ったら老けた証拠？

遅刻理由のトップに挙げられる「寝坊」。全体回答の35.6%にのびます。

しかし、年代別にデータを見てみると面白い結果に。30代を境に、年代が上がるにしたがって「寝坊」が遅刻理由に占める割合は、徐々に減る傾向となりました。

20代までは約半数近くの遅刻理由が「寝坊」であったのに対し、その比率は徐々に低下。60歳以上では、2割を切る結果となりました。やはり若者は眠いようです。「最近、寝坊をしなくなったな」と感じたら、歳をとった証拠かも知れません。

〈 図8:人生最大の遅刻の理由 / 全体・年代別 (N=2,213) 〉



[Q. 4] その時にどんな言い訳をしましたか。思い出やエピソード等をご記入下さい。

◎みんなの「寝坊の言い訳」集。あなたなら何と言いますか？

今回の回答者の方は、遅刻について「言い訳はしない」「正直に理由を話して許してもらった」という方が大半でした。とは言え、寝坊の場合は、いろいろと考えている方もいるようです。最後に、「寝坊」で遅刻をしたときの言い訳から、印象的なものをいくつか紹介します。皆さんも、万一の時に、参考にされたいかがでしょうか。

- 「体調がすぐれなかった」と言い訳をした。具合が悪く見えるようなメイクをして出社した・・・。(熊本県・女性)
- 「家の水道管から水漏れして業者を呼んで立ち会っていたので」と言った。(東京都・男性)
- 「自転車通学中にチェーンが外れた」と言って軍手を汚し、その軍手を着けたまま教室に入った。(千葉県・男性)
- ワールドカップの深夜放送の試合を観戦したため寝坊しました。そのときの言い訳です。「今日は朝からアウェー状態です」。(埼玉県・男性)
- 「金縛りにあって動けなかった」と言い訳した。(埼玉県・女性)
- 「来る途中に10人に道を聞かれたんです。」と言いました。(東京都・女性)
- 「出勤中、道路の両脇から偶然にも打ち水を同時にかけてしまった」と言った。上司は間を置いて一言、「・・・そうか。」(大阪府・男性)
- 当時、営業職だったので、「雨が降っていたので、転んで服が汚れた。着替えてから行きます」と言いました。(鹿児島県・女性)

以上